

生徒と保護者のための

# 週刊 かわら版



## 十五の春を支える

いよいよ、この週末は入試である。在校生の諸君もみんな通ってきた試験。先輩として受験生の15の春をしっかりとサポートしたい。

それぞれ、ドキドキして試験に臨んだことを思い出すことだろう。そして補助員としてサポートしてくれる先輩たちの姿に、安心した生徒もいるだろう。「補助員の高校生が優しく誘導したり、サポートしてくれ、本当にこの学校に入学したくなった」と毎年、多くの受験生が面接の中で答えてくれる。

多くの生徒は、自宅学習期間に入る。しかし、三年生の中には大学受験の真ただ中の生徒も多にいる。そして、



### 先見コーナー

- 1/27(土) ○【生徒出校日】 ○入試会場設営
- 1/28(日) ○入学試験
  - 介護福祉士国家試験 ○全商簿記検定
- 1/29(月) ○生徒振替休日(8/30分) ○職員入試関連業務
- 1/30(火) ○生徒振替休日(8/31分) ○職員入試関連業務
- 1/31(水) ○生徒振替休日(1/27分) ○職員入試関連業務
  - カンボジア海外研修出発(1年プレ) (~2/6)
  - 高校生国際シンポジウム(2年eプレ~2/1)
- 2/01(木) ○生徒自宅学習 ○職員入試関連業務
- 2/02(金) ○生徒自宅学習 ○合格発表
- 2/03(土) ○九州カップ水泳大会(福岡~2/4)
- 2/04(日) ○シンガポール海外研修(2年プレ ~2/10)
- 2/05(月) ○【1・2年も今日から授業再開】【3年出校日】
  - 3年個別学力対策など特別授業本格実施 (~2/23)
  - 3年成績伝票提出締め切り
  - 2年修学旅行全体指導(1限体育館)
- 2/06(火) ○2年修学旅行搬送荷集荷(~8日)
- 2/09(金) ○2年修学旅行結団式
  - 修学旅行荷物積み込み(1限)
  - 卒業判定会(午前授業) ○ニュース検定
- 2/10(土) ○高校演劇祭冬季大会(市中央公民館 ~2/11)
  - キララカップ水泳大会(山口 ~2/11)
  - 2年進研模試(マーク) (~2/11)
- 2/11(日) ○建国記念の日
- 2/12(月) ○振替休日 ○2年修学旅行出発日
- 2/13(火) ○【3年出校日】 ○労働条件セミナー
- 2/14(水) ○インターンシップ(2年eプ ~2/16)
  - 1年遠足・クラスマッチ(~15日)
- 2/15(木) ○2年修学旅行帰着日
- 2/16(金) ○1年進路説明会 ○2年修学旅行振替休日
- 2/17(土) ○数学検定
- 2/18(日) ○全経簿記 ○英語検定2次A日程(本会場)

次のかわら版27号は2月9日に発行の予定です。三年生には2月13日に配布します。

#### 最近のHP更新

- メカトロニクス科
- 第一種電気工事士合格
- ブレップ科
- シンガポール研修新聞紹介
- 情報処理科
- NHK世界ふれあい街歩き
- J S W A O H 和太鼓部
- 慰問演奏
- 柔道部・優勝/準優勝
- システム科特進
- 日商簿記1級2名合格

本校の生徒は、資格取得、部活動などにおいてその活躍が目立ちます。しかし、「かわら版」は生徒の活躍について、ほとんど取り上げていません。

せん。それは記事の偏りが心配されるからです。ぜひ、多くの生徒の活躍をホームページでご確認ください。

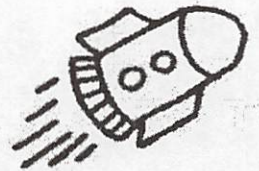
#### スクールカウンセラー

当面のスクールカウンセラーの先生(臨床心理士)の来校日は次のとおりです。ご希望の日の一週間前までに担任または直接教育相談部までお電話ください。教育相談部で日程調整をします。

- 2月2日(金)
  - 2月9日(金)
  - 2月16日(金)
- 最終受付時間は11時30分突発的な変更もありあります。

#### 編集後記

各学年・各学科とも行事が目じろ押しです。先見コーナーでしっかり確認をし、見通しを持って計画を立てたいものです。そうすることで、余計な不安が解消されると思います。そしてそれは、メモの習慣と共に、社会人として大切な習慣ですね。



#### 清流

オレンジ色の光の軌跡がゆっくりと延びていった。そして線香花火の最後のように、そのオレンジ色は小さくなり、消えた。次の瞬間、今度はLEDで地球を照らしているのではないかと錯覚しそうな強い扇型の光がとても幻想的だった。数分前之内の浦から打ち上げられたイブシロン3号だ。出勤の身支度を終える頃には、あたりも明るくなり始めていた。学校に向かうと車に乗り込む前に、今一度、目を空にやった。そこには、かつて見たことのないような雲。何とも稚拙な抽象画のような不思議なキャンバスに見えた▼仕事に追われる日々を過ごしていると、空を眺める機会も少ない。古(いにしえ)に生きた人たちにとって、空模様は生活に深く結びついていたはずだ。天変地異が重なれば何らかの不吉な前触れと恐れる。古事記に描かれた天照大神の「若戸隠れ」は日食の可能性が高い。また、西南戦争の時に出了たという西郷星は火星の大接近だったという▼すべての逸話を科学的に検証していくのにはやや抵抗もある。もし、今回の光と雲をタイムスリップした古の人が見たらどう思うのだろう。古の人の声に耳をすませ、自然に畏れ(おそれ)をいだくのもいいのかもしれない。